



山法師

寒河江中部小学校
学校だより
令和6年11月20日
校長 那須 隆秀

感動の中部小祭 伝えた「成長」と「感謝」

寒河江中部小学校金管バンドで華やかに幕開け

中部小祭のオープニングを彩った金管バンドは、11月2日の東北大会で、見事金賞となり、**12年連続で全国の舞台に進むことになっています。**素晴らしいですね。

全国大会は、12月14日(土)さいたまスーパーアリーナで開催されます。**金管バンドの皆さん、ぜひ全国大会でも頑張ってください。中部小のみんなが応援しています。**



1年生 劇「おむすびころりん」

1年生の目標は、「見ている人に伝わるように大きな声を出す」でした。そして本番では、全員がみごとに目標を達成しました。何と言っても、体操や歌、鍵盤ハーモニカ、計算、けん玉、などなど、小学校に入学してからできるようになったことをたくさん劇の中で披露してくれました。

素晴らしい「成長」の1年生に拍手！



2年生 踊り「花笠音頭・100%元気」



2年生の「やっしょう、まかしよ、中部小それっ」の掛け声で会場が大いに盛り上がりました。花笠が終わったかと思うと、体育館の壁際でハッピーを素早く丁寧にたたんで、次の踊りの場所スタンバイする動作の滑らかさ、待つ姿勢の美しさ。小学校に入学して1年すごして、こんなに成長しました。そして始まるリズム感あふれるダンス。**『100%勇気!』のかけ声は、見ている人を元気にしてくれるダンスでした。**

3年生 劇「ハンメルンの笛ふき」

3年生の劇の面白さは、「町を救ってくれた笛ふきをだまそうとした町の人たちが、結局、自分の子どもを失ってしまう」というストーリーにあります。ストーリーが見ている人に伝わるように、歌やセリフ、動きをがんばった3年生。何と言っても、126人の大人数が、みんなで協力して劇を成功させたことが素晴らしい！

3年生とは思えないレベルの高い劇でした。



4年生 音楽「オーラリー・未来のつくり方」



「未来のつくり方は、思いきり夢をみること」という歌詞が印象的でした。今年10才になる4年生。これから未来に向かってぐんぐんと成長していくことでしょう。冒頭の詩は、自分たちで作ったオリジナルです。「さあ、がんばるぞ」という気持ちが表れています。歌う姿、立つ姿、全てに成長が表れていて、4年生かっこよかったです。

5年生 英語劇「PEACH TARO」

「英語の劇で、内容が見ている人に伝わるのだろうか」という心配をしたのは、私だけではないはず。ところが！5年生は英語劇をみごとに成功させました。練習の時から、自分たちで演技のアドバイスをし合うなど、「自分から」「自分たちで」という気持ちが出ていました。

難しい英語劇をやり切った5年生に拍手！！



6年生 心を一つに「中部小ソーラン」



「こういう6年生になりたい。」1年生から5年生、みんなが心の中で思いました。本当にカッコいい最高のソーランでした。最初の「ハッ」が体育館に響いた時、見ていた500人の心が動いたように感じました。寒河江中部小6年生の「人を感動させる力」は、やはり本物です。伝統のバトンは確かに引き継がれました。